

総合戦略の概要および令和5年度における 地方創生の主な取組について

総合戦略の概要

人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略

1 総合戦略とは

まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口目標をはじめとする地方創生に関する目標や、講ずべき施策に関する基本的方向および講ずべき施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を定めたもの。

2 計画期間

2020年度から2024年度（5年間）

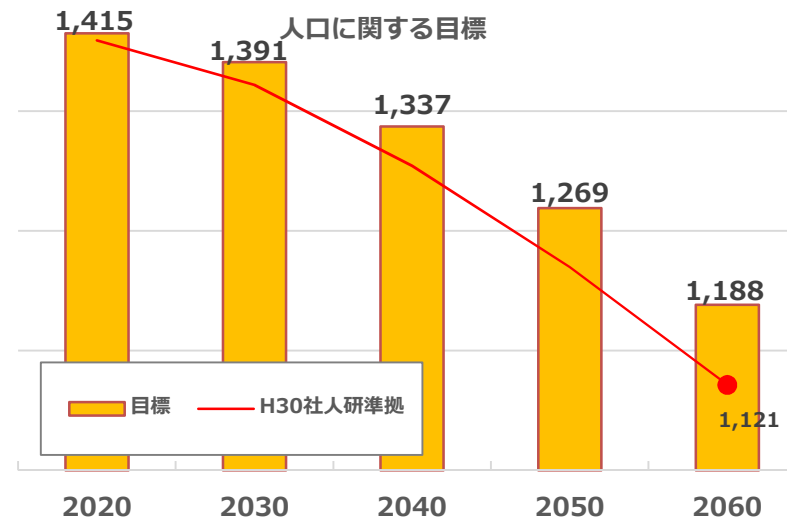
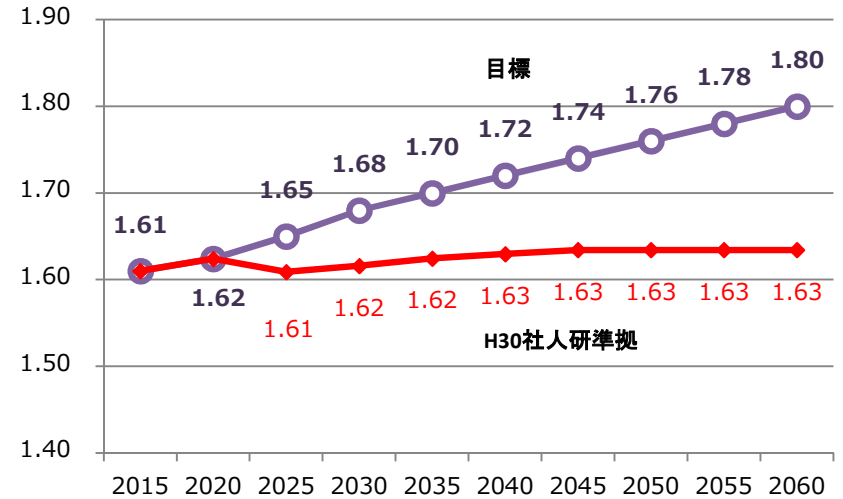
3 人口に関する目標

- 合計特殊出生率が、2060年までに1.8程度まで向上するように取り組みます。
- 県全体の社会増減が、2025年にプラス（社会増）となるよう取り組みます。



こうした取組により、将来的な総人口として、**2040年に約134万人、2060年には約119万人を確保**

合計特殊出生率の見通し



総合戦略の構成

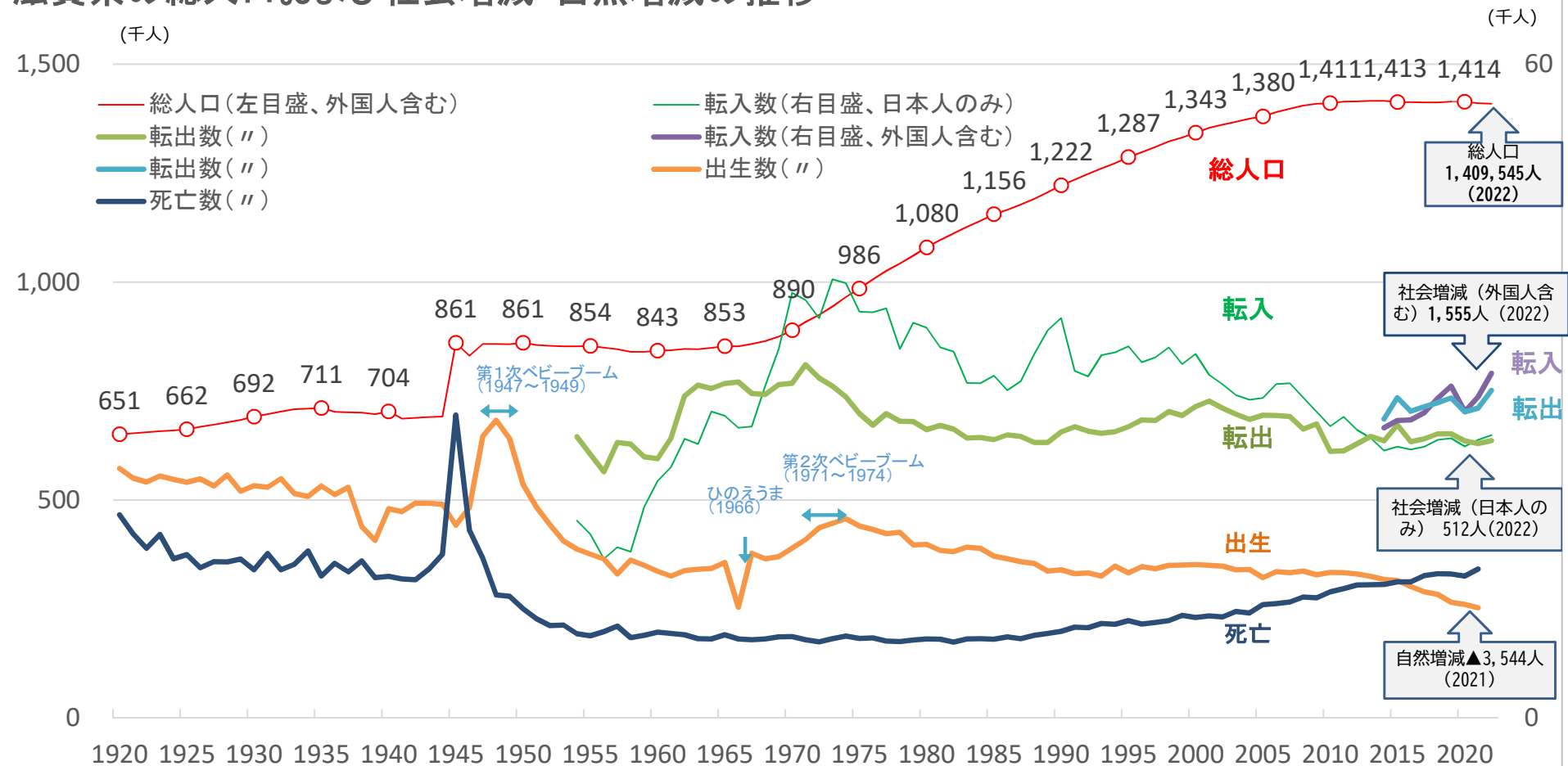
政策分野	基本政策	基本政策において目指す方向性	主な施策
ひと	1 みんなで応援する 結婚・出産・子育てと 人生100年時代の 健康しがの実現	1) 子どもを安心して生み育て、 子どもの健やかな育ちを支える社会づくり	① 子どもを生み育てやすい環境づくり ② 子ども・若者を社会全体で応援 ③ 仕事と子育ての両立に向けた働き方改革の推進
		2) 子どもがたくましくしなやかに 生きる力を身に付けるための教育	① 子ども一人ひとりの個性を大切にし、生きる力を育成
		3) 人生100年時代の健康しがの実現	① 健康増進に向けたいきいきとした暮らしの推進 ② 文化やスポーツを通じた元気な地域づくり
しごと	2 次代に向かう 産業の活性化と 多様で魅力ある 働く場の創出	1) 成長市場・分野を意識した産業創出・転換	① 先端技術等を活用した新たな市場展開や交流による イノベーションの創出 ② 滋賀の強みを活かした産業の創出
		2) 生産性の向上や高付加価値化 による力強い農林水産業の確立	① 農林水産物のブランド力向上 ② マーケットインの視点による農林水産業の展開
		3) 人材の確保・育成と経営の強化	① 人材の確保・定着と事業承継 ② 各分野の人材育成とダイバーシティ経営の推進
		4) 誰もが働き、活躍できる環境の整備	① 誰もが活躍できる多様な働き方の推進 ② 学び直しや再挑戦しやすい環境づくり
まち	3 様々な人々が集い、 琵琶湖と共生する 魅力的な滋賀づくり と次世代への継承	1) 訪れる人・関わる人の創出	① 滋賀ならではの特色を活かした観光の創造 ② 多様な人が関わり合う地域の創造と移住の促進
		2) 暮らしを支える地域づくり	① 地域コミュニティを支える人材の育成等 ② 暮らしやすいコンパクトなまちづくり ③ 地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり
		3) 森・川・里・湖の多面的価値を 未来へ引き継ぐ地域づくり	① 農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承 ② 琵琶湖の保全再生と活用 ③ 生物多様性の確保、森林の多面的機能の発揮

- 重視する視点
- ①若い世代への支援と転入の拡大
 - ②Society 5.0を見据えた産業の振興
 - ③誰もが活躍できる共生社会の推進
 - ④「関係人口」の創出・拡大
 - ⑤人口減少が進む地域への対応

滋賀県の人口動向

- 総人口は、2013年の141.6万人をピークに概ね減少傾向
⇒総人口(外国人含む)について、2019年に増加したが、以後再び減少。
- 40年あまり続いていた日本人のみの社会増(転入数>転出数)が2013年以降は社会減(転入数<転出数)に転じたが、2021年には9年ぶりに再び社会増(転入数>転出数)。2022年も継続。
- 少子高齢化に伴い、2016年以降は自然減(出生数<死亡数)が継続。

滋賀県の総人口および社会増減・自然増減の推移



資料：総務省「国勢調査」、「人口推計」、「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省「人口動態統計」

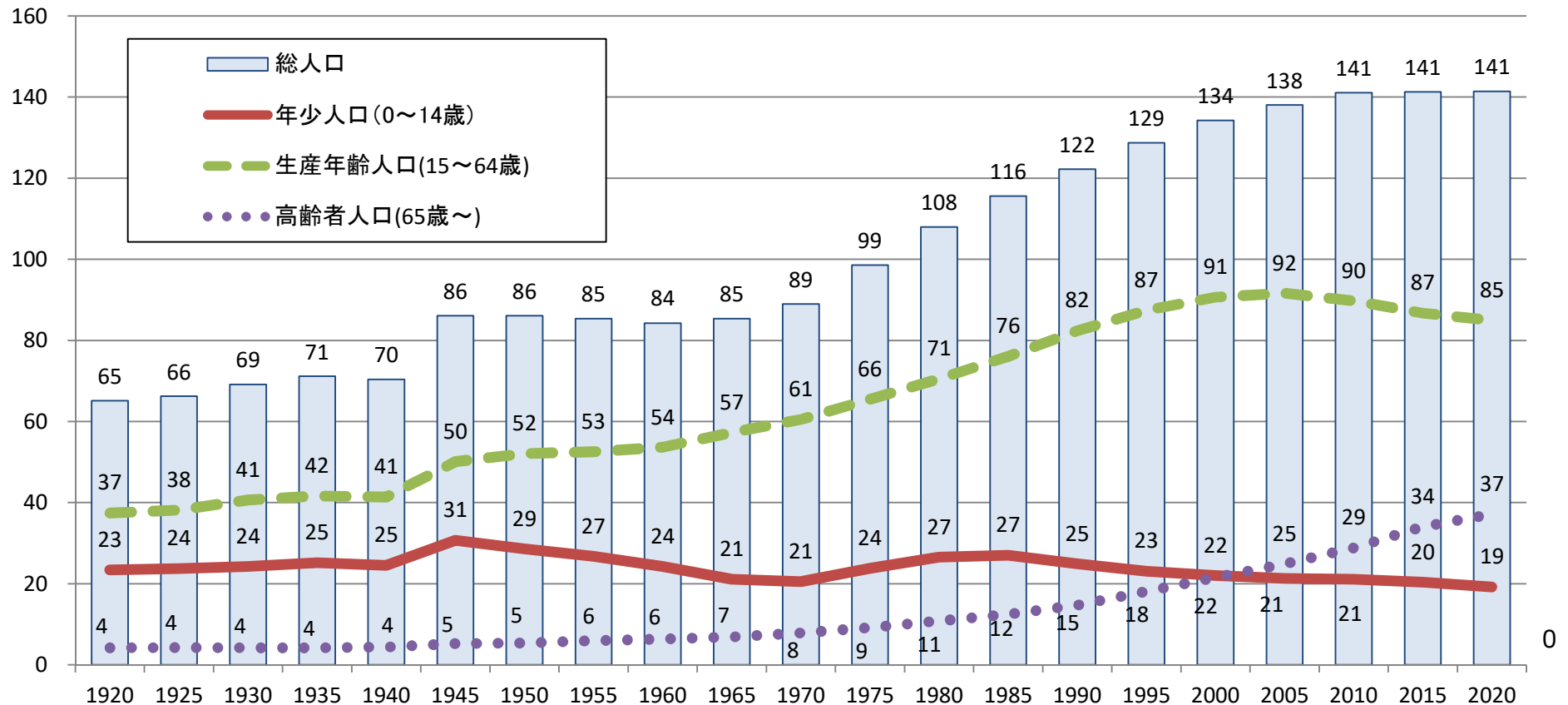
※外国人含む社会増減の統計は2014年以降

区分別の人口の推移

生産年齢人口および年少人口の減少と高齢者人口の増加

- 生産年齢人口は、戦後、増加していたが、2005年をピークとして減少に転じた。
- 年少人口は、1970年代に増加した時期があったものの長期的には減少傾向。
- 高齢者人口は、団塊の世代の高齢化など、生産年齢人口が順次高齢化してきたことや、平均寿命が延びたことなどから、増加が続き、2000年代前半には年少人口を上回った。

3区分別 滋賀県の人口の推移

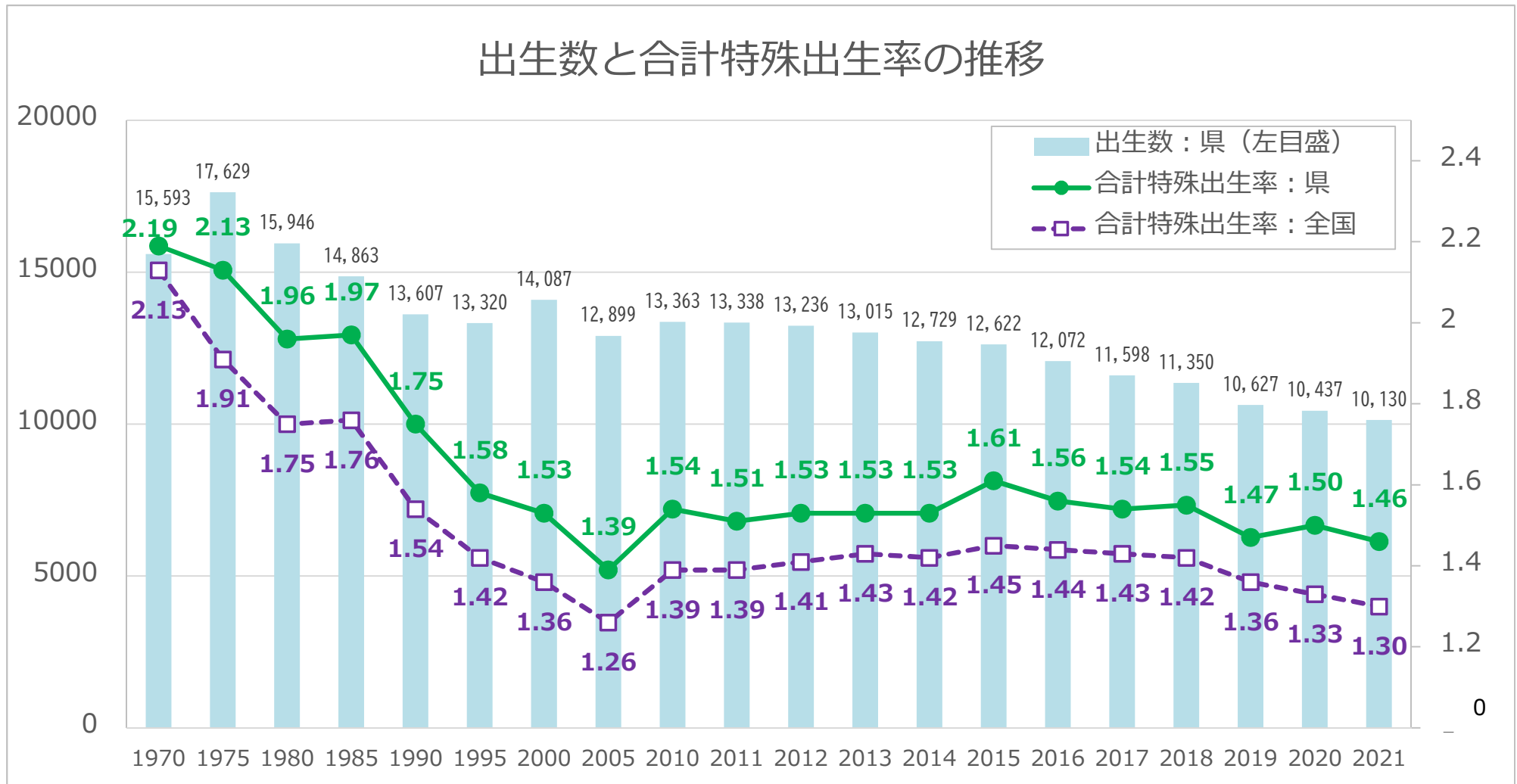


資料：「国勢調査」

出生数と合計特殊出生率の推移

出生数の減少と合計特殊出生率の低迷

- 出生数は、2011年以降、減少が続いている
- 合計特殊出生率は、2005年を底に、一時改善傾向も見られたが、近年は概ね低下傾向



資料：厚生労働省「人口動態統計」

総合戦略の改訂について

改訂の趣旨

- 国は令和6年度(2024年度)までの地方創生の基本的方向を定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を令和4年12月23日に策定。国は、地方公共団体に対し、まち・ひと・しごと創生法に基づく地方版総合戦略について、国の総合戦略を踏まえて改訂に努めるよう要請。
- 国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」)は、新たに2070年までの日本の将来人口推計を令和5年4月26日に公表。総合戦略における「人口の将来展望」や「人口目標」等の基礎となる地域別将来人口推計を2023年中に公表予定。
- コロナ禍を経て人口減少がさらに加速する現状、少子化対策をめぐる国の動き、子ども政策に取り組む本県の動き等、人口減少を取り巻く状況が大きく変化。



人口減少が進む中でも、基本構想で目指す「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に向けてさらに強力的に取り組むため、総合戦略を改訂する

改訂のスケジュール(予定)

- R5.7月頃 特別委員会(現戦略の総括、改訂の方向性について)
- R5.12月頃 特別委員会(素案について)
- R6.3月頃 特別委員会(最終案について)

※有識者・関係団体等で構成する協議会、市町担当課で構成する会議等の意見も踏まえて検討

※地域別将来人口推計(社人研)を踏まえて策定するため、社人研の公表時期によっては変更の可能性あり

基本政策1

『みんなで応援する結婚・出産・子育てと人生100年時代の健康しがの実現』
にかかると令和5年度の主な事業

◆ 子どものために、子どもとともにつくる県政を目指す

子どもまんなか 5つの方向性

- あらゆる政策の中心に子どもを置く
- 子ども・若者の声を反映する
- 社会全体で子ども・若者の育ちや学び、暮らしを支える環境をつくる
- 民間との協働をすすめる
- 市町とともに

取組

子どもが生まれる前からの切れ目ない支援

困難な環境にある子ども・若者の支援

子ども・若者の生きる力を育む

子ども・若者基金
39事業に
152百万円を活用

(仮称)子ども基本条例の
制定



視点

誰ひとり取り残さない

子どもを産み育てることに喜びを感じる滋賀に

多様な主体との分野横断的な連携

子どもも大人も「すまいる・あくしょん」

子どもが生まれる前からの切れ目のない支援



「出会い」から支援を行い、子どもを安心して生み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会をつくる

【予算額 10,002.9百万円】

妊娠前
結婚

妊娠期

誕生

乳幼児期

学齢期

出会い創出、妊娠・出産の相談支援

- しが出会いサポート地域連携推進事業
- 不妊専門相談センター
- 若年妊婦等への支援



結婚支援センター「しが結」

子育て家庭への支援

- 情報発信（ハグナビしが）
- 滋賀で誕生ありがとう事業
- 保育の人材確保と環境改善
- 保育所等における事故防止対策
- 子育て支援の充実（保育所・認定こども園、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブ等）
- 子育て・女性健康支援センター

幼保小接続・学びの支援

- 子ども一人ひとりの学びの最適化
- 幼保小の架け橋プログラム事業



母子保健と子育て支援の一体的推進

- 出産・子育て応援交付金と伴走型相談支援の着実な実施に向けた支援
- こども家庭センターの設置促進

子育て世代
包括支援センター

一体化

こども家庭センター

子ども家庭
総合支援拠点

子育てを応援する地域づくり

- リトルベビー等家族支援事業
- 子ども食堂への支援
- 協働で進める子ども・若者まんなか活動助成事業（居場所づくり）
- すまいる・あくしょん普及啓発



NPOによる居場所づくり

健康医療福祉部
子ども・青少年局
(内3550)
教育委員会事務局
幼小中教育課
(内4660)

笑顔あふれる学校づくり 子ども一人ひとりの学びの最適化

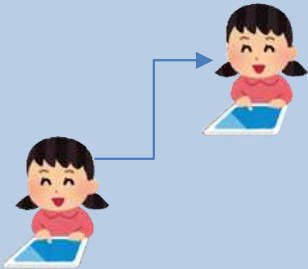


個別最適な学びを推進し、子どもたちの「学ぶ力」を向上させる

個々の学びの把握と検証

学習の達成度を
経年調査し、学
びの伸びを把握

子どもの学びの
状況に合わせて
課題等を提供



学びのステップアップ

「読み解く力」の定着・浸透

- ・ 県内全ての学校において「読み解く力」の視点を踏まえた指導の研修
- ・ 他者と学び合い、考えを広げ深める「協働的な学び」の推進
- ・ 主体的・対話的で深い学びや、一人ひとりに適した指導によって「探究する力」を育成

1人1台端末を効果的に活用した学びの推進

【予算額 41.5百万円】



個別最適な学び

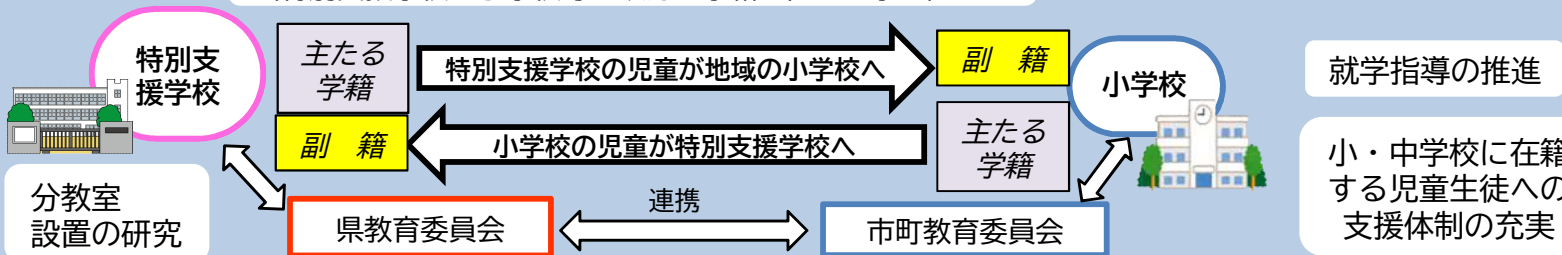
指導の個別化
学習内容の確実な定着

学習の個性化
学習内容の理解を深め、広げる

確かな学力

インクルーシブ教育システムの構築

副次的な学籍制度の実施
(特別支援学校と小学校等の双方に学籍を置いて学ぶ)



教育委員会事務局
 高校教育課 (内4571)
 幼小中教育課 (内4660)
 特別支援教育課 (内4640)
 総合教育センター (077-588-2311)

笑顔あふれる学校づくり 魅力ある県立高等学校づくり

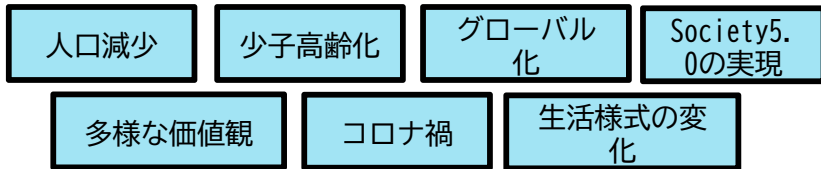


「生きる力」を身に付けられる県立高等学校づくり 県立高等学校の魅力化

【予算額 73.7百万円】

現状

- 生徒数の減少による県立高等学校の小規模化
- 社会情勢の変化



課題

生徒が「生きる力」を身に付けられる
県立高等学校づくり

県立高等学校の魅力化

令和5年度重点取組

普通科／職業系専門学科の
魅力化・特色化



地域連携



学校間連携



主な施策

【イノベーティブな
グローバルリーダーの育成】
○WWL（ワールド・ワイド・ラーニ
ング）コンソーシアム構築支援事業



【起業家精神の醸成】
新 しがアントレプレナーシップ
ハイスクール（SESH）事業



【産業界と連携した
専門高校における人材育成】



新 しがクリエイター12プロジェクト
～産業教育高校がわがまちを魅力化～

新 アグリイノベーション・
ハイスクール事業
○マイスター・ハイスクール事業

【県立高等学校の魅力化】



- 県立高等学校魅力化推進事業
 - ・地域コーディネーター設置
 - ・地域と連携した学科設置の研究
 - ・遠隔授業など学校間連携の研究 他
- 湖西地域県立高等学校魅力化
推進事業

新 高校生による音楽魅力発信事業

新 （仮称）しがCO₂ネットゼロ
スクール検討事業

新 「北の近江振興」高校魅力化
推進プロジェクト事業

新 トビタテ！留学JAPAN
しが拠点形成推進事業

教育委員会事務局
教育総務課（4510） 高校教育課（内4578）

基本政策2

『次代に向かう産業の活性化と多様で魅力ある働く場の創出』
にかかると令和5年度の主な事業

県経済・産業の持続的な成長に向けて 産業の創出と中小企業の活性化



中小企業活性化推進条例施行後10年の総括・検証を踏まえ、新たな課題や変化に積極的に対応し、
本県経済の持続的な成長につながる産業の創出を目指す

【予算額 653.4百万円】

①産業のDXを推進

- 小規模事業者等のDX推進を支援
- 制度融資にDXデジタル推進枠を創設
- 中小製造業者のDX人材の育成を支援(再掲)



②イノベーションの創出、 CO₂ネットゼロの推進

- 新産業の創造や近未来技術の社会実装に向けた取組等を支援
- 企業等のCO₂ネットゼロに資する取組への支援
- 中小企業団体によるGXの推進
- CO₂ネットゼロに資するグリーン物流の推進



③起業・スタートアップ等の支援を強化

- 地域の社会的課題の解決につながる起業を支援
- 滋賀テックプランター等を通じたスタートアップの支援
- 女性の起業をトータルサポート



④産業立地を促進

- (仮称)産業誘致戦略の策定
- 「企業立地促進応援パッケージ」による新規立地や再投資を促進
- 情報通信業の県内立地を促進



⑤地場産業支援の強化

- 地場産業事業者と専門家のマッチング・伴走支援
- 地場産業事業者の設備整備を支援



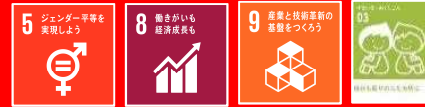
⑥中小企業の経営基盤を強化

- 県内企業の株式上場に向けた機運醸成



商工観光労働部
 商工政策課 (内3712)
 中小企業支援課 (内3730)
 モノづくり振興課 (内3790)
 企業立地推進室 (内3792)
 労働雇用政策課 (内3750)
 女性活躍推進課 (内3770)

滋賀の産業を担うひとづくり 商工業のひとづくり



人生100年時代を見据え、多様な働き方を実現し、
誰もが学び、成長し、活躍する社会の実現を目指す

【予算額 369.2百万円】

人材確保

- 若者の県内企業への就職促進に向けたインターンシップ等の充実
- プロフェッショナル人材戦略拠点による中小企業の専門人材の確保・定着支援
- 外国人材(高度技術人材)の確保・活用支援
- 子育て等に配慮した企業との合同説明会開催等、女性の就労を支援



人材育成(リスキング・次世代育成)

- 新** 中小製造業者のDX人材の育成を支援
- 新** 仕事体験を通じて、子どもが県内業界について理解する機会の提供と若手事業者の成長を促進
- 新** ものづくりマイスター等による小中学校での出前授業を支援
- 産業界・労働者等のニーズに合った高等技術専門校のあり方検討
- 滋賀県初の高等専門学校の設置準備(再掲)
→令和10年春開校へ

【目指す学校像】

すべての人と地球を
支え続ける技術を
磨く学校



働き方改革

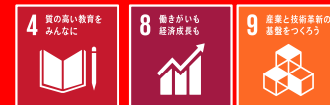
- 多様な主体との連携により中小企業の働き方改革を支援
- 在宅ワーク等、女性の多様な働き方への支援

ひとづくりを進め
企業と労働者が共に成長



商工観光労働部	
中小企業支援課	(内3733)
モノづくり振興課	(内3794)
労働雇用政策課	(内3750)
女性活躍推進課	(内3770)
総合企画部	
高専設置準備室	(内4581)

滋賀県立高専設置事業



滋賀県初の高等専門学校（高専）の設置準備の加速化

【予算額 178.1百万円】

※県予算のみ

総合企画部
高専設置準備室（内4581）

令和4年度

校地決定、産業界との共創宣言
基本構想1.0策定、
関係機関による推進本部設置

令和5年度～

施設整備、カリキュラムの策定、
教職員の選任・採用、
地域・産業界との連携

地域へ 世界へ

滋賀発で
次代の社会を支える
高等専門人材の育成

技術者育成
・交流のハブ
となる学校

15歳の新たな選択肢



▶ 県・（公）県立大学

- ・学校運営組織づくり
- ・校長、教員(実務家教員含む)の検討・人選
- ・カリキュラムの精緻化
- ・入試の検討

▶ 県・（公）県立大学

- ・校地（県有地部分）の造成
- ・施設の整備

▶ 野洲市

- ・開発許可
- ・通学路の整備
- ・まちづくり



▶ 県・（公）県立大学

- ・産業界との共創
- ・積極的な情報発信、小・中学生の関心醸成



連携・支援

▶ 国(国土交通省)・野洲市

- ・隣接国有地における河川防災ステーション^{*}の整備

(仮)高専共創プラットフォーム



※高専と連携利用を行う

滋賀の産業を担うひとづくり 農業・水産業の担い手の確保・育成



担い手の経営力の向上と多様な人材の確保・育成により農林水産業を守る

【予算額 1,220.0百万円】

地域農業・琵琶湖漁業を中心となって担う人や組織
(認定農業者、集落営農 等)

農政水産部	
農政課	(内3825)
みらいの農業振興課	(内3846)
水産課	(内3876)
農村振興課	(内3963)

担い手を支える地域の活力
(半農半X、自給的農家、
土地持ち非農家 等)



県産農畜水産物を
率先して購入する人
(ファン)



農業・水産業と関わる「人のすそ野」を拡大する



担い手の経営力向上 【890.9百万円】

- ・グリーン化（地域環境に配慮した農業生産の実現）
- ・スマート化（効率的な農業生産の実現）
- ・流通・販売の強化
- ・儲かる漁業の実現

就農・新たな事業展開の支援 【294.8百万円】

- ①新規就農者の初期投資費用の軽減
- ①女性就農者、集落営農オペレーターの確保
- ①オーガニック野菜の担い手確保

農山漁村の活性化 【13.8百万円】

- ①若者と農山村との「絆」の醸成
- ・協働活動のプロデュース
- ・「お試し移住」の支援

琵琶湖システムの魅力発信 【20.5百万円】

- ①次世代の学びの推進
- ①情報プラットフォームの構築
- ①体験・交流ツアーの実施

滋賀の産業を担うひとづくり 林業・木材産業等の担い手の確保・育成



豊かな森林を未来に引き継ぐため、川上から川下までの林業・木材産業等の担い手を確保・育成【予算額 72.9百万円】

琵琶湖環境部
森林政策課（内3910）

【川上】

活力のある林業の推進

【川中】

加工・流通体制の整備

【川下】

幅広い県産材の利用

- ・ **滋賀もりづくりアカデミー**
新規林業就業者の育成、
既就業者の生産性向上支援、
市町職員の育成



- ・ **森林評価測定士**
山土場での造材、仕分け・検知業務を担う
森林評価測定士の育成



- ・ **木造建築設計に精通した建築士等**
木造設計の知識と県産材の特性や流通状況
を熟知した建築士等の育成



- ・ **森林施業プランナー**
施業集約化の中核を担う森林施業
プランナーの育成

- ・ **就業相談等**
就業相談や林業体験の実施、
林業事業体への就業支援



- ・ **県産材の加工流通人材**
県産材の製材加工や流通に関する
人材の育成



- ・ **木造化促進アドバイザー**
県産材の調達から木造設計について具体的
な助言を行い、木材利用に理解のある発注者
等を育成



滋賀の産業を担うひとづくり

世界農業遺産を活かした農林水産業の魅力発信



農林水産業の魅力発信による担い手や関係人口の拡大

【予算額 34.3百万円】

新 次世代に繋ぐ「学び」の推進

- ・学習教材の制作
- ・フローティングスクールとの連携
- ・ギャラリー展
- ・出前講座

新 情報発信プラットフォーム

- ・戦略的発信 (SNS、ホームページ)
- ・参加・交流型イベント

新 体感・体験ツアー

- ・農業漁業体験
- ・ワーケーション
- ・世界農業遺産メニュー

たのしい! かっこいい! おいしい!

農林水産業の「ファン」の拡大

農政水産部	
農政課	(内3825)
農村振興課	(内3963)

多様な担い手の確保

関係人口の増加

県産品の消費拡大

次世代への引継ぎ

新 若者と農山村との「絆」の醸成

しがのふるさと応援隊事業

- ・農山村版ワーキングホリデー
- ・息の長い関係人口を創出
- ・北部の振興

興味・好奇心を育成

農林業サポーター

家族で移住

応援隊として地域との継続的な関係を構築!

協働活動をプロデュース

しがのふるさと支え合いプロジェクト

- ・多様な主体と集落の協働活動

協定締結 → 協働活動

企業・NPOなど
● 持続可能な社会づくりに貢献したい

中山間地域 (生活・活動組織)
● 農作業を手伝ってほしい!
● 地域活性化を図りたい!
● 特産品を開発したい! など...

大学
● 中山間地域の農業を実践的に学びたい

紹介 登録

遊覧車

コーディネート・マッチング

中山間地域の活性化、地域貢献の充実感を共有!

「お試し移住」

農山村の新生活様式サポート事業

- ・農山村移住情報を発信
- ・お試し移住から移住へ
- ・移住受入ガイド(仮)の作成

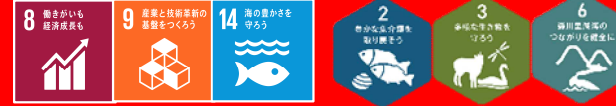
リモートワークだからできる!

新しい滋賀の農山村ぐらし!!

農業や地域活動に関わるライフスタイルを体験!

新しい時代には選ばれる農山村

滋賀の産業を担うひとづくり 儲かる琵琶湖漁業の実現



生産性の向上と湖魚の需要拡大で夢のある産業への進化

【予算額 72.9百万円】

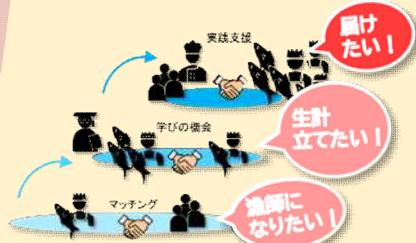
滋賀の水産業強靱化プラン

- R3 儲かる漁業への
- R4 転換のための
- R5 基礎づくり**
- R6
- R7 水産業全体の
- R8 再興
- R9
- R10 儲かる漁業の
- R11 展開
- R12

少数でも精鋭の
儲かる漁業

漁業担い手の確保と育成

- 就業希望者研修の充実
- 「びわ湖漁業塾」でスキル向上
- New**
- 儲かる漁業へのチャレンジを支援
- 高校生向け職業体験会



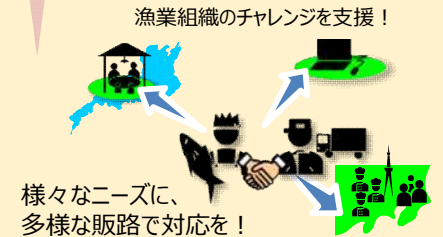
DX資源管理型漁業

- 漁獲情報のオンライン化
- 漁業・遊漁のルールチェック
- New**
- びわます遊漁と漁獲の情報一元化



ニーズに応える流通改革

- 流通実態・消費動向の把握
- 新たな県内集出荷体制の構築
- New**
- 新たなターゲットへ販路開拓



戦略的なPRと需要喚起



漁業組織再編

漁協合併の体制づくり



琵琶湖をとりまく環境の保全・再生と自然の恵みの活用・魅力発信 農業のグリーン化・スマート化



持続的で生産性の高い「儲かる」農業の実現

【予算額 818.0百万円】

農政水産部
みらいの農業振興課
(内3847)

① グリーン化

(1) 琵琶湖・生物多様性の保全、CO2ネットゼロ

- オーガニック農業・環境こだわり農業
- 堆肥等の地域内循環システムの構築 (新)
- 農業水利施設の使用エネルギー転換 (新)



(2) 地消地産の拡大

- いちご新品種「みおしずく」の生産拡大



① 地球環境にやさしい！
日本一の環境保全型農業

- ・琵琶湖の保全
- ・生物多様性保全
- ・地消地産の拡大
- ・CO2ネットゼロ

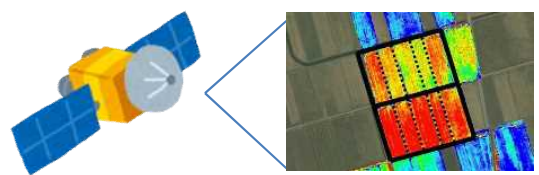
③ 流通・販売の強化

- オーガニック・環境こだわり農産物の流通・販売対策
- 大都市圏および海外における「滋賀の幸」の魅力発信

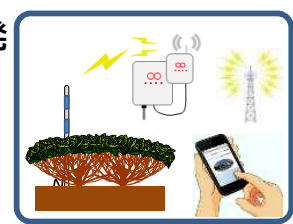


② スマート化

- スマート農業技術の実装支援



- ICTを活用した茶栽培サポート技術の開発



② 新しい技術で
さらなる効率化
・安定した農業生産

③ 付加価値に見合った
価格で売れる
・販路の確保

● 誰もが楽しく、やりたくなる！

農業、面白そうよ やってみよう！
持続的で生産性の高い
みらいの農業の実現

基本政策3

『様々な人々が集い、琵琶湖と共生する魅力的な滋賀づくりと次世代への継承』
にかかると令和5年度の主な事業

県経済・産業の持続的な成長に向けて 滋賀ならではのツーリズム「シガリズム」の推進

「シガリズム」の提供を通じて、よりよい地域社会が実現し、
持続可能な観光を推進する滋賀県を目指す

【予算額 367.5百万円】



シガリズム ～心のリズムをととのえる旅へ～

- シガリズムコンテンツの創出、効果的な情報発信
- インバウンドの回復に向けたプロモーション
- 大河ドラマを活用した魅力の発信



誰もが楽しめるビワイチ

- レンタサイクルの利便性向上など、受入環境の整備
- 「ビワイチの日、ビワイチ週間」の取組等によるビワイチの魅力向上
- 国内外に向けたビワイチ、ビワイチ・プラスの魅力発信



「ここ滋賀」～滋賀への誘い～

- 観光コンシェルジュの案内対応やグループ旅行の誘致強化
- インバウンドを対象とした情報発信
- 事業者がここ滋賀で行う企画催事等への支援



(万人) 観光入込客数



観光需要の早期回復と
観光関連産業の中長期的な成長

商工観光労働部
観光振興局 (内3741)
ここ滋賀 (03-6225-2951)

令和5年度 県北部地域※の振興の取組

※県北部：長浜市、高島市、米原市の地域

主な振興策（関連事業70億円）

地域資源や機会を生かす

- ◆北陸新幹線敦賀駅開業等を活かした誘客
- ◆豊かな自然や恵みを活かした観光コンテンツ創出
- ◆地域イベント開催への支援
- ◆二次交通整備による利用促進
- ◆発酵産業活性化、情報通信業の県内立地促進
- ◆「近江の城」の魅力発信、指定文化財の保存修理等
- ◆北部から発信！人と動物の豊かな関わり

地域事情を踏まえて

- ◆道路ネットワーク構築・整備
- ◆河川整備、土砂災害防止施設整備
- ◆ダム中止に伴う地域整備
- ◆魅力ある県立高校づくり

先行課題への対応等

- ◆滋賀に集まる人材の活用促進
- ◆デジタル活用による関係人口創出
- ◆県外からの移住促進
- ◆森林サービス産業等の事業化、棚田地域の保全対策
- ◆「やまの健康」の実践
- ◆有害鳥獣対策

新

地域特性や魅力を生かしたさらなる振興策

北の近江振興プロジェクト

①住み続けたいくなる
還りたいくなる北部へ

②挑戦する若者が集う
北部へ

③訪れたいくなる北部へ

【総合プロジェクト】

県が分野・テーマを設定し、地域連携のもと取組を展開
<検討の方向性>

移住や人づくり

転職なき移住の推進

自然環境を活かした
地域活性化

まちづくりへの支援

高校魅力化

地域資源を活かした
取組

【特別プロジェクト】

総合プロジェクトに寄与し、相乗効果を生み出そうとする
市の取組を支援

北部地域において取り組む多様な主体との
連携・協働活動

三本の推進軸

北の近江振興プロジェクト

【予算額 49.1百万円】



魅力 豊かな自然、地場産物、世界に誇れる歴史的・文化的遺産、地域を大切にする気風、新たな若者の風、人・文化・物流の結節点 等

現状 北部3市（長浜市、高島市、米原市）は、生産年齢人口割合が県全体と比較して低く推移している状況

方向性

人が集まる

新たな価値を生み出す経済

デジタルを活かす

豊かな自然との共生

<目標>

⇒移住+地域とつながる人
(関係人口)を3千人増やす

令和5年度の実施（先行事業+現地での調査・検討）

総合プロジェクト

①住み続けたくなくなる還りたくなくなる北部へ

○しがのふるさと応援隊事業

- ・農山村版ワーキングホリデーの実施 (5,119千円)

②挑戦する若者が集う北部へ

○「北の近江振興」高校魅力化推進プロジェクト事業

- ・地域で探究的な学びを深め、北部地域の振興に寄与する人材を育成 (7,520千円)

③訪れたい北部へ

○北の近江振興プロジェクトコー

ディネーター配置

- ・地域資源の可能性を検討 (8,000千円)

(8,000千円)

特別プロジェクト

○北の近江振興プロジェクト推進補助金 (20,000千円)

- ・総合プロジェクトとの相乗効果を生み出す市の主体的な取組を支援
- ・目標に向けた北部3市のチャレンジングな取組を支援

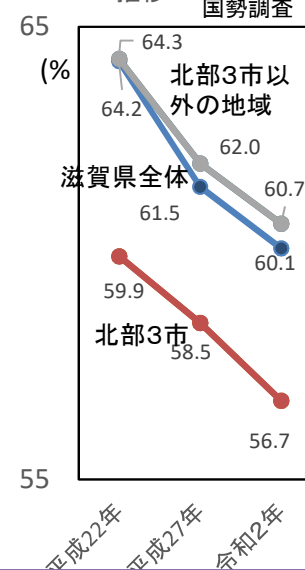
(ロケーションイメージ)



連携・協働

- 北部地域において総合プロジェクトの実施検討をする中で、多様な主体と連携・協働 (8,544千円)
⇒次年度以降の事業の立ち上げにつなげる

生産年齢人口比率の推移 国勢調査



ロードマップイメージ



総合企画部
新駅問題・特定プロジェクト対策室
(内3331)



交通の要衝 米原駅を活かした取組



※イメージ図につき、駅、線路の位置は実際と異なります。

琵琶湖をとりまく環境の保全・再生と自然の恵みの活用・魅力発信 やまの健康2.0



森林の適正管理、林業の成長産業化、農山村の活性化が一体となった「やまの健康」の取組をバージョンアップ【予算額 3,960.6百万円】

森林 Ver. UP!
の適正管理 主伐・再造林 (資源循環)
間伐 (保育)

林業 Ver. UP!
の成長産業化 民間・非住宅
公共建築

農山村 Ver. UP!
の活性化 農山村
活動支援 都市部へ農山村
の価値を提供



- 【多面的機能の発揮】**
- ・環境林の整備
 - ・計画的な間伐
- 【資源の循環利用】**
- ・主伐・再造林
 - 新** エリートツリー等種子生産
 - 新** 架線による集材・搬出支援
- 【安全・安心】**
- ・ライフライン等保全のための予防伐採等



- 【川上】**
活力のある林業の推進
- ・林業人材の育成
 - ・木材生産力の向上
- 【川中】**
加工・流通体制の整備
- ・加工・流通の人材育成
 - ・ニーズに対応した加工・流通体制の整備
- 【川下】**
幅広い県産材の利用
- ・木造建築設計への助言
 - ・木造建築セミナー



- 【都市とやまをつなぐ】**
- ・木育の推進
 - 新** 木育拠点施設の整備
R5: 展示内容検討、設計
R6: 施設改修、オープン (予定)
木育指導者の育成
 - ・森林空間等の資源を活用し
都市と「やま」をつなぐ
森林サービス産業の創出
やまの資源と都市とのマッチング
 - ・企業の森づくり
 - 新** 「やま」への関わり方を企業に提案
 - ・森や緑にふれる機会の創出
 - 新** 植樹等の森づくりイベントの開催
- 【農山村の魅力を高める】**
- ・農村RMO
複数集落の機能を補完する「農村RMO(農村型地域運営組織)」の形成による魅力ある農山村づくり



森林政策課(内3910) / 農村振興課(内3961) ※農村RMOのみ
びわ湖材流通推進課(内3920)